

■主な内容

- P2 人間ドック・脳ドックの費用を助成
- P3 バリアフリー改修費を補助
- P4-5 児童福祉週間

twitter  京田辺市は、公式ツイッターを運用しています。
<http://twitter.com/citykyotanabePR>

施政方針を公表

「ふるさと」のように感じるまちに



2月21日、石井市長が市議会本会議で「平成24年度施政方針」を述べました(写真)。その一部を1:2面で紹介します。主要施策などは2面のほか、今号に折り込んでいる予算特集号でお知らせしています。

【施政方針の全文は、市ホームページ「こんにちは市長です」に掲載しています】

はじめに

本市をはじめ地方自治体を取り巻く環境は、依然として厳しく、経済情勢など先行きが不透明感を増す中で、地方から元気を出し、明るい京田辺市のまちづくりに向かって取り組んでまいります。

基本認識

昨年は、東日本大震災や台風によって、自然災害の恐ろしさを改めて痛感したところ、さらなる大地震の発生も危惧され、対策の強化が急務であると認識しております。

経済情勢も依然厳しく、消費税増税の動きと併せ、市民生活は一層厳しさが増すものと考えております。

基本方針

また、原発事故に端を発した電力不足に対応するため、節電や省エネの促進と、新エネルギーの普及にも努めなければならないと認識しています。

これらの課題や問題を認識し、誰もが「ふるさと」のように感じ、住み続けたいと思えるまちづくりに努めてまいります。

目指す都市像「緑豊かで健康な文化田園都市」の実現に向け、すべての人が地域のぬくもりを感じ、豊かな自然に囲まれ、自分が育った「ふるさと」のように思えるよう、2期目の当初にお示した「5つのチャレンジプラン」を軸に、まちづくりにチャレンジします。

また、市民満足度を高める施策を充実させるため、市政を話し合う機会を設けるほか、電子メールによる意識調査制度を創設します。さらに、同志社大学との連携強化や、職員の資質向上も図ってまいります。

田辺東幼 洪水に備え初訓練

園児が田辺東小に避難



田辺東幼稚園で3月9日、集中豪雨による木津川の洪水を想定した初めての避難訓練が行われました。

同園は、木津川左岸から西へ300mほどと近い場所にあり、左岸堤防が崩れたときは避難に余裕がないことが考えられます。訓練では、市災害対策本部から避難指示を受けた後、園児が平屋の園舎から隣接する田辺東小学校の4階まで避難しました(写真)。

訓練を終えた同園園長は「子どもたちの安全を第一に考え、落ち着いて避難誘導できました。今回の訓練を生かし、常に危機意識を持って災害に備えたい」と話していました。



①避難前に落ち着いて点呼をとる先生と園児
②防災無線を使い市災害対策本部から避難指示を受ける園長